

# DNP

株主通信

## DNP Report Vol.88

(証券コード：7912)

第123期 第2四半期決算のご報告

平成28年4月1日～平成28年9月30日





代表取締役社長

北島 義俊

株主の皆様には、ますますご清栄のことと心よりお慶び申し上げます。また日頃は格別のご支援を賜り、誠にありがとうございます。

当第2四半期連結累計期間(平成28年4月1日から9月30日)の国内の経済環境は、雇用環境の改善など一部に回復の兆しがありましたが、円高の進行や個人消費の伸び悩み、海外経済の減速もあり、本格的な回復には至りませんでした。印刷業界では、出版印刷物をはじめとした紙媒体の需要減少に加え、競争激化による受注単価の下落や急激な円高の影響もあり、厳しい経営環境にありました。そのなかで私たちは、新規事業開発や拠点整備などの先行投資を行い、新しい価値の創出に努めました。

### ❖ 事業ビジョン「P&Iイノベーション」による新たな価値の創出

DNPは印刷(P)と情報(I)を組み合わせる革新(イノベーション)を起こし、新しい価値を創出していくという強い意思を込めて、「P&Iイノベーション」という言葉を事業ビジョンに掲げています。イノベーションには“技術革新”という意味もありますが、私たちはそれをより広く捉え、新しいビジネスモデルの構築や他社との協業なども含めた「革

新」そのものに取り組んでいきます。

事業構造改革としては、今年4月まで数年をかけて、15以上あった事業部を6つに集約しました。また生産体制の見直しも進め、モノづくりの強みとソフトウェアやこれまでにない独創的なビジネスモデルを組み合わせ、収益体質の改善に努めています。

## ❖ 各事業部門の取り組みについて

●**情報コミュニケーション部門**：今年4月、商業印刷や情報セキュリティ等に関わる複数の部署を統合し、情報イノベーション事業部としました。また10月には、これらの分野でメディアやコンテンツの企画・制作等を行うグループ会社3社を統合し、新会社・DNPコミュニケーションデザインを発足させました。これにより、多様なメディアに的確に対応していくとともに、より生活者視点に立った情報収集と分析を行い、付加価値の高いマーケティング施策を提供するなど、営業活動を支援する体制を強化しました。

●**生活・産業部門**：包装関連事業では、著しい成長が期待される東南アジア市場においてインドネシアとベトナムの生産拠点の増強を図っています。各国の固有のニーズに対応することによって、これらの地

域でのシェア拡大を進めていきます。一方、国内では生産拠点の再編を行い、生産効率の改善に取り組むほか、医療・医薬品や産業資材などの新規分野向けに、新製品・新サービスを開発していきます。

また、床材や壁紙をはじめとする生活空間関連事業では、住宅やオフィスだけでなく、商業施設や教育・医療施設、自動車や鉄道車両などの移動空間までも対象として、快適性など居住空間の改善に役立つ製品の提供に努めていきます。

●**エレクトロニクス部門**：当部門では2014年度にディスプレイ製品や電子デバイス、光学フィルムなどの部署を統合し、技術やノウハウ、知的財産などを連携させた新製品開発に努めています。スマートフォンやタブレット端末などの、高精細ディスプレイや大きな成長が見込まれる有機ELディスプレイへの対応などに積極的に取り組んでいきます。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご指導とお力添えを賜りますよう、お願い申し上げます。

# 第2四半期決算のご報告 (平成28年4月1日から平成28年9月30日)

## 連結業績

当期 (平成28年4月1日から平成28年9月30日)  
前期 (平成27年4月1日から平成27年9月30日)

(単位:億円)

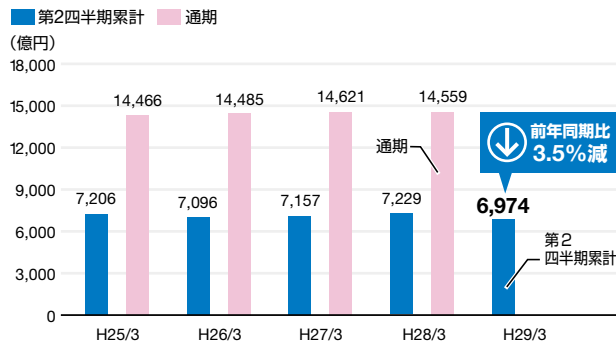
科目	当期	前期	増減
売上高	6,974	7,229	3.5%減
営業利益	116	202	42.3%減
経常利益	143	249	42.4%減
親会社株主に帰属する四半期純利益	151	185	18.3%減

## 連結業績の予想 (平成29年3月期通期)

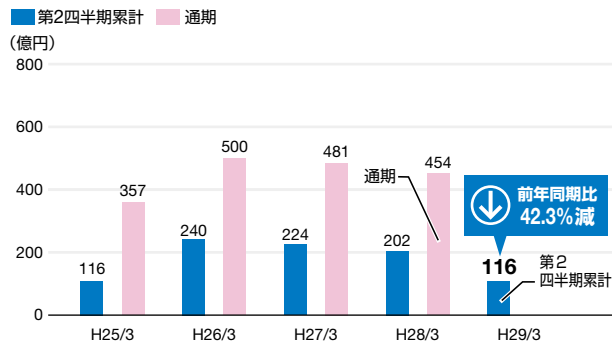
(単位:億円)

売上高	14,200
営業利益	320
経常利益	360
親会社株主に帰属する 当期純利益	280

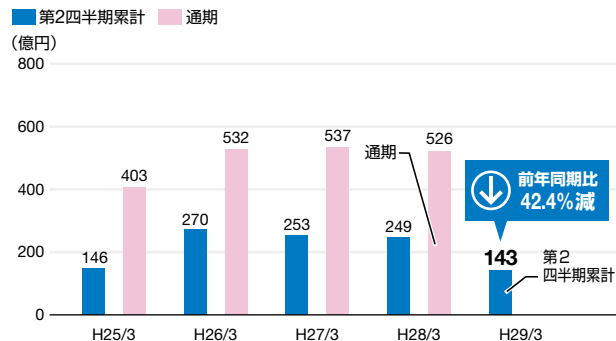
## 連結売上高



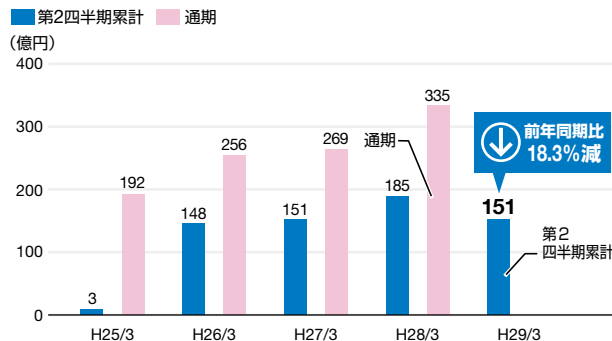
## 連結営業利益



## 連結経常利益



## 親会社株主に帰属する当期(四半期)純利益



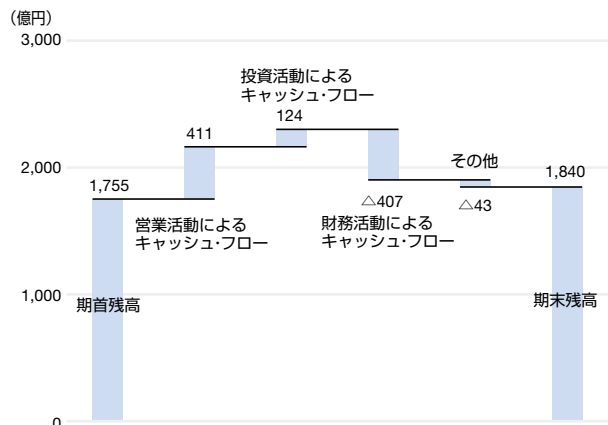
## 連結財務諸表 (平成29年3月期第2四半期)

### 連結貸借対照表(要約)

(単位:百万円)		
科 目	当第2四半期 連結会計期間末	前連結会計 年度末
<b>資産の部</b>	<b>1,675,087</b>	<b>1,718,636</b>
流動資産	712,641	721,724
固定資産	962,446	996,911
<b>負債の部</b>	<b>645,273</b>	<b>655,394</b>
流動負債	412,523	423,313
固定負債	232,749	232,080
<b>純資産の部</b>	<b>1,029,814</b>	<b>1,063,241</b>
株主資本	884,840	894,752
その他の包括利益累計額	98,739	122,672
新株予約権	16	16
非支配株主持分	46,217	45,800

### 連結キャッシュ・フロー(要約)

現金及び現金同等物の推移(平成28年4月1日から平成28年9月30日)



### 連結損益計算書(要約)

(単位:百万円)		
科 目	当第2四半期 連結累計期間	前第2四半期 連結累計期間
<b>売上高</b>	<b>697,492</b>	<b>722,933</b>
売上原価	566,862	583,968
販売費及び一般管理費	118,958	118,728
<b>営業利益</b>	<b>11,671</b>	<b>20,235</b>
営業外収益	8,387	8,342
営業外費用	5,666	3,583
<b>経常利益</b>	<b>14,392</b>	<b>24,993</b>
特別利益	41,183	6,577
特別損失	32,062	3,603
法人税等合計	6,543	8,709
<b>四半期純利益</b>	<b>16,971</b>	<b>19,257</b>
非支配株主に帰属する 四半期純利益	1,828	716
<b>親会社株主に帰属する 四半期純利益</b>	<b>15,142</b>	<b>18,541</b>

### 連結包括利益計算書(要約)

(単位:百万円)		
科 目	当第2四半期 連結累計期間	前第2四半期 連結累計期間
四半期純利益	16,971	19,257
その他の包括利益	△25,101	△17,315
<b>四半期包括利益</b>	<b>△8,130</b>	<b>1,942</b>
(内訳) 親会社株主に係る四半期包括利益	△8,789	1,418
非支配株主に係る四半期包括利益	659	523

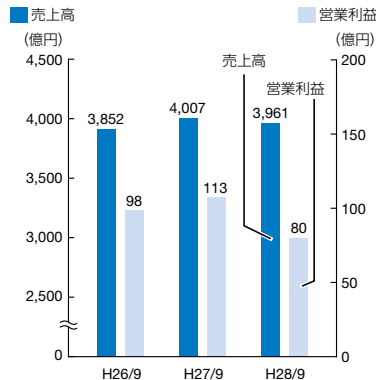
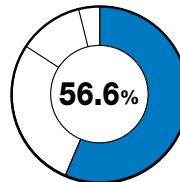
# 第2四半期決算のご報告 (平成28年4月1日から平成28年9月30日)

## 部門別営業報告

### 情報コミュニケーション部門 Information Communication

売上高	3,961億円 (前年同期比 1.1%減)
営業利益	80億円 (前年同期比29.2%減)

売上高構成比



出版関連事業のうち、教育・出版流通関連は、書店での販売とネット通販、電子書籍販売サービスを連携させたハイブリッド型総合書店「honto」が順調に推移したほか、図書館サポート事業が受託館数の増加によって拡大するなど、前年を上回りました。出版メディア関連は、雑誌の減少が大きく、全体としては前年を下回りました。情報イノベーション事業は、カタログ、パンフレットなどのマーケティング関連が一般的に堅調に推移しました。また、ICカードや、パーソナルメール等のデータ入力・印刷・発送等を行うIPS (Information Processing Services) を中心とした情報セキュリティ関連も順調に推移し、全体として前年を上回りました。イメージングコミュニケーション事業では、北米での写真プリント用昇華型熱転写記録材 (カラーインクリボンと受像紙) が円高の影響もあり減少したため、前年を下回りました。

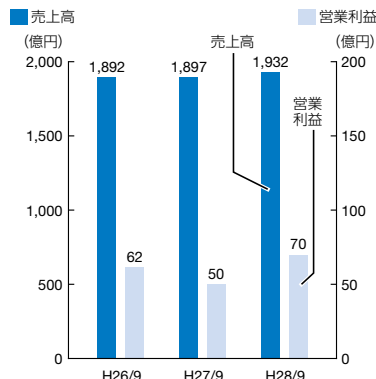
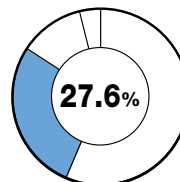


証明写真機「Ki-Re-i」

### 生活・産業部門 Lifestyle and Industrial Supplies

売上高	1,932億円 (前年同期比 1.9%増)
営業利益	70億円 (前年同期比39.0%増)

売上高構成比



包装関連事業は、紙やフィルムのパッケージが堅調で、ペットボトル用無菌充填システムの販売も好調に推移したことにより前年を上回りました。生活空間関連事業は、国内販売の拡大や海外市場の開拓に注力し、前年並みを確保しました。なお、当事業については、住まいだけでなく、自動車や列車等のモビリティ空間、商業施設や公共施設など、あらゆる生活空間に事業を拡げていくことを目指し、今年7月、従来の「住空間マテリアル関連事業」から名称を変更しました。産業資材関連事業は、リチウムイオン電池用部材については車載用が増加したものの、モバイル用が伸び悩みました。また、太陽電池用部材も国内市場低迷の影響により、前年を下回りました。



ペットボトル用無菌充填システム

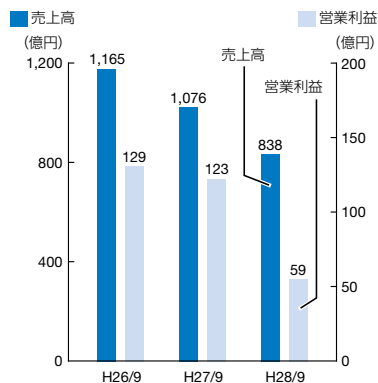
## エレクトロニクス部門

## Electronics

売上高	838億円 (前年同期比22.2%減)
営業利益	59億円 (前年同期比51.5%減)

売上高構成比

12.0%



ディスプレイ関連製品事業は、液晶ディスプレイ用カラーフィルターがスマートフォンやタブレット端末向けの中小型品およびテレビ向けの大型品がともに減少し、前年を下回りました。また、光学フィルム関連も主力の反射防止フィルムが減少し、前年を下回りました。電子デバイス事業は、半導体製品用フォトマスクが伸び悩み、リードフレームやハードディスク用部材なども減少して、前年を下回りました。



フォトマスク

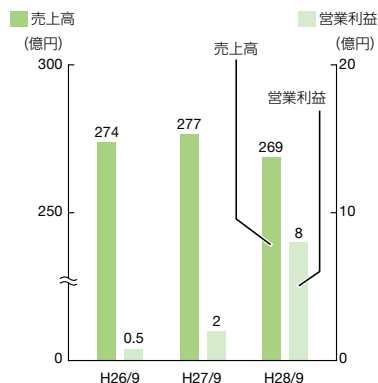
## 清涼飲料部門

## Beverages

売上高	269億円 (前年同期比 2.8%減)
営業利益	8億円 (前年同期比236.8%増)

売上高構成比

3.8%



清涼飲料業界で厳しいシェア争いが続くなか、新製品の発売により主力ブランド商品の販売を強化したほか、エリアマーケティングや運用ノウハウを活かした自動販売機事業に注力し、市場シェア拡大と新規顧客の獲得に努めました。その結果、軽量ペットボトルを使ったミネラルウォーター「い・ろ・は・す」や主力ブランド「綾鷹」などのティー飲料が増加しましたが、北海道地域以外のグループボトルへの販売減少に加え、「コカ・コーラ」やスポーツ飲料が伸び悩みました。



清涼飲料

## 当期の主な取り組み (第2四半期まで)

### ● デジタルセキュリティの世界的リーダー、ジェムアルト社と協業 [8月10日発表]

DNPはオランダのジェムアルト社(Gemalto N.V.)と、IoT (Internet of Things:モノのインターネット)のセキュリティ分野で協業し、安全・安心なIoST (Internet of Secure Things)環境を提供していきます。

DNPは1981年にICカード関連の開発に着手し、各種ソフトウェアの開発や製造・発行、認証サービスなどで高い国内シェアを獲得、維持してきました。これらの実績を通じて培った技術・ノウハウを活かし、高セ

キュリティなIoST環境の実現に取り組んでいます。またジェムアルト社は、金融・交通・機器間通信などの幅広い領域で、データの盗難や改ざんなどを防ぐデジタルセキュリティ関連のソリューションを各国の企業や政府などに提供しています。今後、高いセキュリティが要求される金融や通信、各種インフラや製造、医療などの分野を中心に、協力して対応していきます。

### ● フューチャーリンクネットワークとの提携で地域創生を支援 [9月8日発表]

政府は「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を制定し、地域の稼ぐ力や価値を高めるまちづくりの支援に取り組んでいます。こうした動きを受けてDNPは、地域情報ポータルサイト「まいぷれ」を運営する株式会社フューチャーリンクネットワークと資本・業務提携を行い、自治体、地域に密着した企業や商店街とともに地域の経済発展を支援するサービスを提供していきます。

「まいぷれ」は2016年11月現在、全国83の地域パートナー企業とともに471市区町村に展開しており、各地の生活者に地域情報などを届けています。今後も地域創生につながるサービスを順次展開し、2020年度には人口10万人以上の市区町村の約7割で、官民協働でコミュニケーションできるメディアとなるよう対象エリアを拡大していきます。

### ● 情報コミュニケーション事業の強化・発展に向けてグループ3社を統合 [9月30日発表]

2016年10月、情報コミュニケーション事業の企画・制作などを担当するグループ3社を統合し、新会社「株式会社DNPコミュニケーションデザイン」を設立しました。各社の強みを組み合わせることで相乗効果を高め、生活

者視点に立った的確なマーケティング、企業と生活者が求める安全で効果的なコミュニケーション、各メディアの企画・制作、システムの構築・運用などを展開し、情報コミュニケーション事業の拡大を図っていきます。

### 【株式会社DNPコミュニケーションデザインに統合した3社の主な業務内容】

- 株式会社DNPメディアクリエイティブ: カタログやパンフレット、各種販売促進物の企画・制作など
- 株式会社DNPデジタルコム: ウェブサイト構築、アプリやコンテンツの開発、データセンターやシステムの運用など
- 株式会社DNP映像センター: 各種映像コンテンツの企画・プロデュース・制作など



## 株式会社DNPエンジニアリング

“提案型総合エンジニアリング会社”として、独自の革新的生産システムを開発し、工場設備の効率的な稼働をトータルにサポート

DNPエンジニアリングは、DNPグループの工場の生産設備、ユーティリティ設備、建物の設計・製造・維持管理を行う総合エンジニアリング会社です。グループのモノづくりの競争力を高めるエキスパート集団として、出版印刷や商業印刷、パッケージやディスプレイ製品の製造装置の開発などを幅広く手がけています。

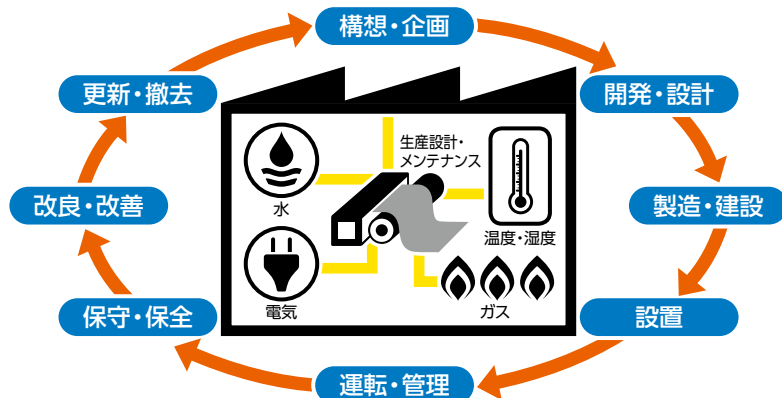
近年は特に、最先端のデジタル技術、ネットワーク技術を駆使し、各種印刷物の精度や品質を高めるだけでなく、省力化や保守性の向上によるコストの低減、省電力化や低騒音化などによる環境負荷の低減にも力を入れています。

国内に32の事業所を配し、グループの製造拠点に常駐するエンジニアは、生産性向上のための改善やメンテナンス計画の作成のほか、突発的な問題にも迅速に対応しています。また、工場や周辺施設で使われる水・

電気・ガス等のユーティリティや建屋の設計・施工、維持管理なども手がけ、生産活動を一元的にサポートしています。DNPがつくり出す新しい価値をより高めるとともに、業務効率化とコスト削減につながる新たなエンジニアリング手法を提案し、グループ全体の収益性アップにつなげていきます。



設計作業(イメージ)



### 会社概要

名称：株式会社DNPエンジニアリング  
所在地：茨城県つくば市緑ヶ原1-1-3  
設立：1953年11月  
資本金：1億円

# “フォーカスDNP”シリーズ【第25回：ヒトから考えるパッケージ・イノベーション】

生活者の価値観が多様化し、商品の選択肢も増えるなか、一人ひとりに最適な新しい価値を提供することが難しくなっています。DNPは、移り変わる生活行動に潜む



ニーズを掘り起こし、多様なライフスタイルに合わせた価値を創造することが大切だと考えています。

1950年代にスタートしたDNPの包装事業は、食品や飲料、日用品や医療用品など、人々の暮らしに欠かせない製品やサービスとして国内外に広がっています。そして今、生活者の視点と行動からアプローチして新しい製品づくりに活かす「ヒトから考えるパッケージ・イノベーション」に力を入れています。ヒトがパッケージに関わる「かう」「しまう」「つかう」「かえす」という行動にどのような潜在的ニーズがあるかを発見し、革新的でありながら、あたりまえのように生活を支える価値の創造に取り組んでいます。

## シーン①【かう】生活者の購買行動観察を通じて、買うことのきっかけをつくります。

### ●「DNPパッケージ・販促物デザイン評価サービス イメージバスケットVR」

購買行動調査は、実在する店舗の協力を得て実際の売場で行うことが一般的ですが、食品や日用品のメーカー等にはもっと手軽な方法を求めていました。そこでDNPは、3D（3次元）の仮想の売場をつくり、実際の購買に近い行動をディスプレイ上で体験できるサービス「イメージバスケットVR」を開始しました。利用者はVR（Virtual Reality：仮想現実）映像を見ながら仮想の陳列棚の間を自由に移動し、並んだパッケージを手にとって記載された情報に目を通し、商品を選ぶことができます。企業はこれにより、発売前の商品の陳列方法やPOP（店頭販促物）などの効果を事前に検証できます。実在しない売場をつくり出せるほか、購買するまでの生活者の行動や心理状態などのデータを収集することができます。DNPは、生活者のより良い購買行動を支えるという観点で、売場づくりや商品開発の提案に活かしていきます。



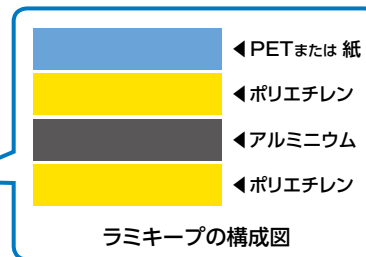
仮想の陳列棚

## ❖ シーン②【しまう】「より長く」「より元のまま」「よりやさしく」保護・保存・収納します。

### ● 刺激の強い内容物に最適な「DNP 耐内容物包材 (ラミキープ)」

プラスチックのパッケージは、高濃度のアルコール、アルカリや酸、香料など、内容物の刺激の強い成分によって、漏れたり、開封しにくくなったりするという課題がありました。DNP は独自のラミネート技術を用いることにより、アルコール度数 99.5%まで対応可能で、その他の刺激の強い内容物への耐久性も高い「DNP 耐内容物包材 (ラミキープ)」を提供しています。ラミキープは比較的安価で一般的なポリエチレン製フィルムを使用しながら、高い耐久性を維持することが可能です。医薬品の貼付剤や消毒用の高濃度アルコールのほか、香辛料、液体入浴剤、一部の農薬など幅広い内容物に使用でき

ます。長期間保存した場合でも開封しやすく、医薬品や日用品メーカー向けの販売を強化していきます。

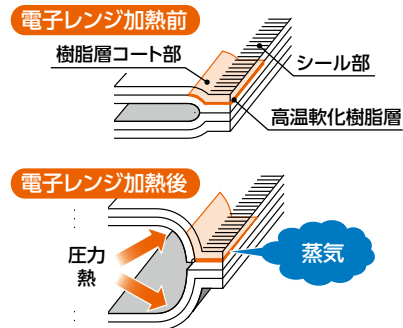


## ❖ シーン③【つかう】生活者の使い方を観察して、使いやすさを追求していきます。

### ● 安全に電子レンジで加熱・調理できる包装材「アンタッチスルー」

DNP は 1997 年から、袋のまま電子レンジで加熱可能なパウチ「DNP 電子レンジ包材 アンタッチスルー」を製造、販売しています。密閉されたパウチ食品を電子レンジで加熱すると内圧が上昇して破裂しますが、アンタッチスルーは加熱時に蒸気口が自動的に開き、水蒸気を逃がしてパウチの破裂を防ぎます。2015 年には、蒸気口の形状を改良することで、従来と同じ外形寸法で内容量を増やすことに成功しました。また、これまで充填が難しかった惣菜のじゃがいもや人参などの大きな具材も充填可能となりました。アンタッチスルーは、酸素や水蒸気に対する高いバリア性を持ち、賞味期限の長いレトルト食品にも対応できます。また加熱後にパウチを持

つ際、熱さを感じにくい設計になっており、使いやすさについても工夫しています。



## シーン④【かえす】“未来の生活者”にも配慮し、地球にやさしいパッケージを提供します。

### ●環境に配慮した「DNP植物由来包材 バイオマテック」



DNPは持続可能な社会の実現に向けて環境配慮製品・サービスの開発に注力しており、植物由来の原料を一部に使用した「DNP植物由来包材 バイオマテック」シリーズを提供しています。サトウキビから砂糖を精製した際の副産物（廃糖蜜）やとうもろこしなどを原料の一部に使用しているため、石油の使用量を削減できます。また、植物は生育の過程でCO<sub>2</sub>（二酸化炭素）を取り込んでいるため、焼却時に排出されるCO<sub>2</sub>と相殺できると捉えられます。DNPは詰め替えパウチ、液体用紙容器、紙カップなど、さまざまな用途でバイオマテックを展開しています。

2016年7月には、バイオマテックを使用することで、メーカーの製品がエコマーク\*認定を取得できることをアピールするため、バイオマテックシリーズのうち、「バイオマテックPE（ポリエチレン）フィルム」を使用した販促用包材サンプルにて、エコマーク認定を取得しました。

容器包装に関するエコマークは従来、詰め替え容器な

ど認定基準に定めのある容器形態のみ取得が可能でした。しかし今回、石油由来の製品からバイオマテック製品に切り替えることで、従来の認定基準にない容器形態であっても、エコマーク認定が取得できる可能性が広がりました。

またDNPは、2016年度中に「バイオマテックPET（ポリエチレンテレフタレート）フィルム」の販促用包材サンプルでも認定を取得する予定です。これらの活動により、バイオマテックシリーズの販売をますます拡大していきます。

\*エコマークは、原材料の調達から生産、廃棄までの製品のライフサイクル全体を通して環境への負荷が少なく、基準を満たした商品に付与される“環境ラベル”です。

### エコなポイント

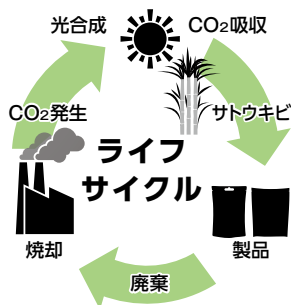
#### 1 再生できる資源の利用



#### サステナブル



#### 2 CO<sub>2</sub>削減に貢献



エコマーク認定容器  
PEフィルムに  
植物由来プラスチック16%  
大日本印刷株式会社

包装材料の材質  
袋：PET, PE

## ❏【2016年9月28日発表】映像を空中に浮かせて見せる次世代プロモーションツール発売

DNPは、商品紹介などの3D(3次元)映像を空中に投影し、商品が浮いているように見えるプロモーションツールを2016年10月に発売しました。食品や日用品、化粧品などを生活者に強くアピールするアイキャッチ効果の高い店頭用ツールとして、メーカーや商業施設などに販売していきます。

本製品は、株式会社アスカネットが開発した、ディスプレイの映像を空中に表示する「エアリアル イメージング プレート」を使用しています。机などの上に設置する「カウンターディスプレイタイプ」と、床に直接設置する「フロアスタンドタイプ」の2種があり、センサーによって、生活者は手の動きで空中の映像を操作することができます。筐体は紙製のため、デザインの

自由度が高いオリジナルの印刷が可能です。また軽量のため、設置や撤去が容易です。

DNPは本製品を活用して、来店者の目を惹く映像表現を行い、企業の販売促進を幅広くサポートします。



## ❏【2016年9月5日発表】店頭で口座開設からICキャッシュカードの発行までできる専用端末を開発

DNPは、銀行の店頭で生活者自らが口座開設からICキャッシュカードの発行まで行える専用端末「本人確認機能付きカード発行機」の試作機を開発しました。今後、金融機関や生活者の声を反映した上で、2017年夏頃のサービス開始を目指します。

本端末では、マイナンバーカードや運転免許証の顔写真を読み取り、端末のカメラで撮影した本人の顔写真と照合して本人確認を行います。また、マイナンバーカードや運転免許証から氏名や住所などの情報を自動的に取り込むため、これらの入力作業の負荷を軽減します。

本端末をATMコーナーなどに設置することで、窓口の営業時間外でも口座開設とICキャッシュカード発行が可能となります。また「DNPスマートフォン向け

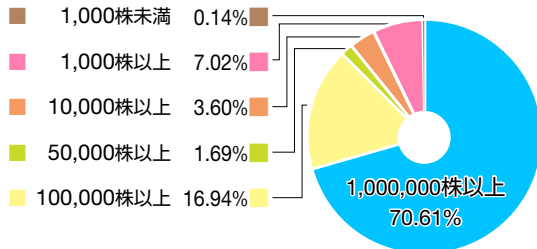
銀行口座開設用アプリ」との連携を進め、アプリで口座開設の申込みを行い、店頭でスマートフォンを本端末にかざすことでカードを受け取れるようにしていく計画です。



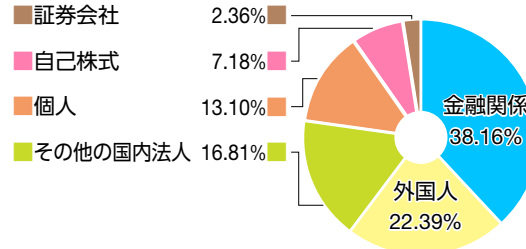
## 株式の状況 所有数別分布状況

発行済株式総数  
663,480,693株  
(自己株式  
47,611,923株を含む)

株主数  
29,951人



## 所有者別分布状況

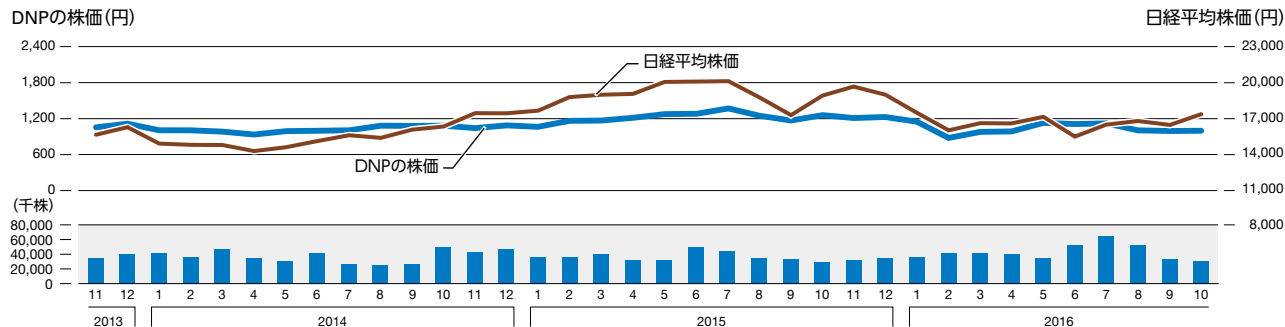


## 大株主 (上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	47,661	7.74
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	34,834	5.66
第一生命保険株式会社	30,882	5.01
株式会社みずほ銀行	18,413	2.99
自社従業員持株会	15,688	2.55
日本生命保険相互会社	9,471	1.54
ザ バンク オブ ニューヨーク メロン エスエーエヌブイ 10	7,813	1.27
ステート ストリート バンク アンド トラスト カンパニー 505225	7,295	1.18
ジェーピー モルガン チェース バンク 385151	6,729	1.09
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	6,726	1.09

(注) 1. 持株比率は、発行済株式総数から自己株式を控除した株式数(615,868,770株)を基準に算出しております。  
2. 自己株式は、上記大株主からは除外しております。

## 株価 / 出来高の推移



## 会社概要

商号

大日本印刷株式会社

英文社名

Dai Nippon Printing Co., Ltd.

本社所在地および連絡先

東京都新宿区市谷加賀町一丁目1番1号

電話 03 (3266) 2111 総合案内

ウェブサイト <http://www.dnp.co.jp/>

創業

明治9年(1876年)10月9日

設立年月日

明治27年(1894年)1月19日

資本金

1,144億6,476万円

## CONTENTS

株主の皆様へ	2
第2四半期決算のご報告	4
DNPグループ紹介 ⑩	9
“フォーカスDNP”シリーズ 【第25回:ヒトから考えるパッケージ・イノベーション】	10
ピックアップニュース	13
株式情報	14
会社情報	15



表紙：ヒトから考えるパッケージ・イノベーション(イメージ)

※当株主通信は、DNPの事業ビジョンや業績に関する情報の提供を目的としています。記載された意見および予測は、作成時点でのDNPの判断に基づいたもので、これらの情報の完全性を保証するものではありません。

※記載されている会社名、製品名は、それぞれの会社の登録商標または商標です。

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会開催時期	6月
上記総会における議決権の基準日	3月31日 その他必要のある場合は、取締役会の決議によりあらかじめ公告して設定します。
剰余金の配当基準日	期末配当金 3月31日 中間配当金 9月30日
株主名簿管理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部
上場証券取引所	東京証券取引所
公告方法	電子公告により行います。(当社のウェブサイト <a href="http://www.dnp.co.jp/ir/">http://www.dnp.co.jp/ir/</a> ) ただし、事故その他やむを得ない理由によって電子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。

## 株式事務に関するご案内

### 1. 住所変更、配当金受取方法の変更等のお問い合わせ先、お手続き窓口

- 一般口座(証券会社の口座)にある株式  
株主様が口座を開設されている証券会社の本支店
- 特別口座(みずほ信託銀行の口座)にある株式  
(お問い合わせ先) みずほ信託銀行 証券代行部 〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝日を除く 9:00~17:00)  
(お手続き窓口) みずほ信託銀行 本店および全国各支店(トラストラウンジを除く)  
みずほ証券 本店および全国各支店  
プラネットブース(みずほ銀行内の店舗)

### 2. 未払配当金のお支払窓口(払渡し期間経過後の配当金領収証によるお受け取り)

- (お支払窓口) みずほ信託銀行 本店および全国各支店(トラストラウンジを除く)  
みずほ銀行 本店および全国各支店
- (取次所) みずほ証券 本店および全国各支店  
プラネットブース(みずほ銀行内の店舗)

### ※ 単元未満株式に関するお知らせ

1,000株に満たない株式(単元未満株式)を所有されている株主様が、当社に対しその単元未満株式と合わせて1単元(1,000株)になる数の株式を買増請求できる「単元未満株式の買増制度」を導入しております。また、単元未満株式の買取請求につきましても、お取り扱いしております。

- DNP Report に関するお問い合わせ先

**大日本印刷株式会社** 広報室 〒162-8001 東京都新宿区市谷加賀町一丁目1番1号  
TEL : 03-3266-2111 (総合案内)



この報告書を印刷する際の電力(1,100kWh)は、自然エネルギーでまかなわれています。



この印刷物は、NPO法人カラーユニバーサルデザイン機構により色覚の個人差を問わず、多くの方に見やすく配慮されたデザイン(カラーユニバーサルデザイン)として認証されました。